



2025春闘を職場・地域から闘おう！ ②

社員の苦労に報いる賃上げを！

2025春闘第1回団交

本部は本日、2025年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求の申し入れについての第1回団体交渉を開催し、下記の通り、要求の趣旨説明を行いました。

申し入れにあたっての要旨

- ◆ 2025年3月期の第3四半期決算（連結）は3,768億円の利益を計上し、通期予想では3,880億円に上方修正した。年末年始輸送は、431万5千人、前年比の結果は108%（2018年比105%）となり、過去最高を記録した。
- ◆ 組合員・社員は日々の業務に対して努力し、奮闘した結果である。しかし会社はその奮闘に報いることもなく、期末手当を3.0ヶ月という低額に抑え込んだ。また、昨年の春闘におけるベースアップは、世間相場からかけ離れた極わずかの7,000円であり、大きな格差を生んだ。全社員の気持ちを裏切ると共に、現場で働く全社員の生活設計を破壊した。
- ◆ 12月分の消費者物価指数は、2020年を100として110.7と、物価上昇が加速している。
- ◆ 現金給与総額指数を消費者物価指数で割った実質賃金は前年比0.2%減で、3年連続の実質的な賃下げである。
- ◆ リニア建設を進めていることは、組合の要求に応える経営体力は十分ある。
- ◆ 従って、賃金の大幅改善に対し誠意ある回答を行うこと。